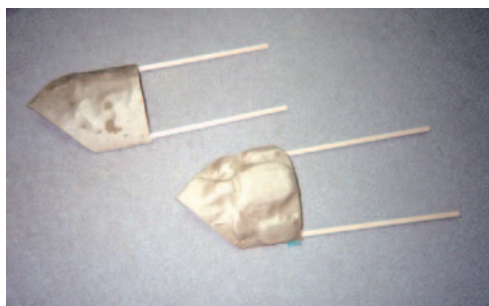
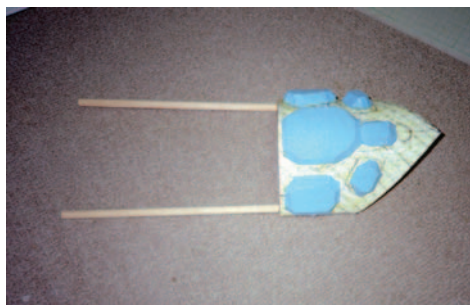
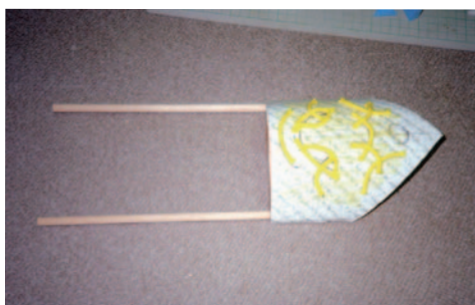
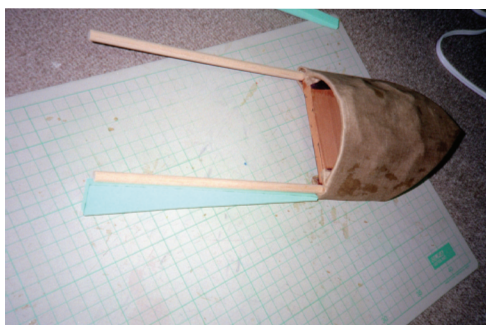


## VOLDO3 追補(1)



カターの甲の部分に凹凸をつけて文様を浮かび上がらせるために、合皮を貼りあわせる前に凹凸をこしらえておきます。スポンジやロープなどを使いました。後は凹凸のくぼみに接着剤を塗って合皮を浮かさないように貼りあわせれば文様が浮かび上がります。



カターの腕を保護していると考えられる部分は丸棒にスポンジ素材を貼りあわせてから合皮で仕上げました。当然塗装してます。



左右仕上がってきた状態です。接着の行程が多いので、ここまでくるのに相当な時間が必要です。



刃の部分は脱着が可能なようにマジックテープ留めにしてあります。ここに使われているマジックテープは手芸用ではなく、電気・工業用の強力なタイプです。

## VOLDO3 追補(1)



左肩と手首付近に着けるリングを連結するのは頼りないベルトとメッシュです。この強度はメッシュ自体の強度なので、ベルトは芯の入っていないへらへらな状態です。

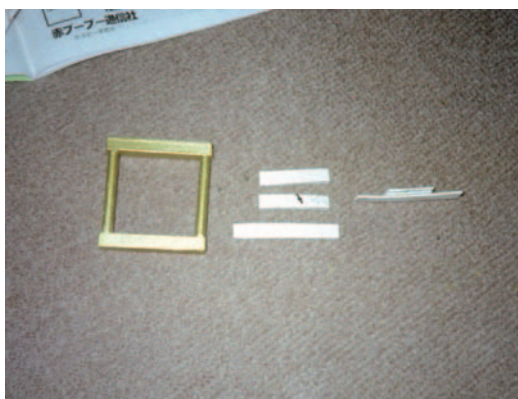


メッシュはループになっていないので、ゴムひもで縫うように合わせます。色も指定の物がありませんので着色します。



左肩～左手首までの防具一式です。

これを装着すると左腕の自由がほとんどありません・・・



あちこちのベルトにバックルが付いていますが、大きな物はこのようなニセモノです。

市販のバックルに大きくてデザインのシンプルな物が見あたらないので、実際に機能していないバックルは木製のニセモノにしました。